

5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第9時(9時間取り扱い)

台形の面積を求める見通しを持つことができる!

本時の授業の概要

既習の求積方法をもとに台形の面積を求める発展学習である。台形の面積を求める考え方を公式にまとめ、面積を求められるようになるとともに、面積の学習をより深める。

本時の目標

台形の面積の求め方を考え、公式を作ることができる。

活用場面

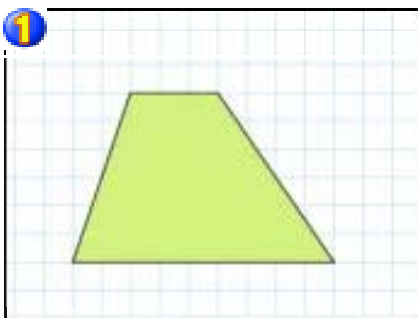
課題発見

見通し

一般化

まとめ

習熟



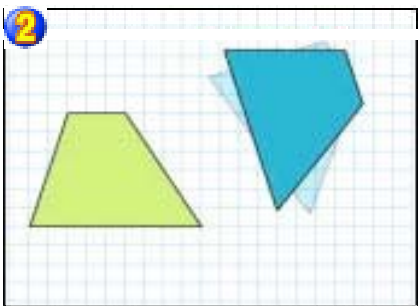
台形をどう変形したら面積が求められるか考える

① T: 台形の面積を工夫して求めましょう。

T: 台形をどんな形に変形すれば面積を求めることができるでしょうか。

C: 三角形・長方形・平行四辺形

同じ形の台形を2つ合わせ、平行四辺形にするという見通しをもつことができる



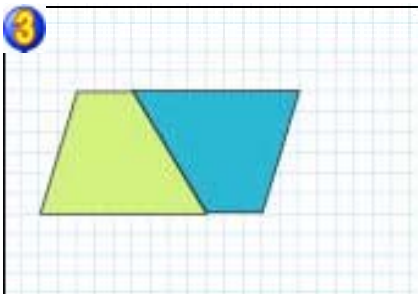
② T: (途中で画面を止めて) この後、どうなるでしょうか。

C: ひとつの台形が一回転する。

T: 回転した台形はどうなりますか。

C: 回転してもとの台形にくっつけると、平行四辺形になりそうだ。

台形の面積を求める公式を作る見通しを持つ



③ T: 同じ大きさの台形2つでできた平行四辺形をもとにどうすれば台形の面積を求められますか。

C: 平行四辺形の面積を半分すればいい。

T: 言葉を式にあらわし、面積も求めましょう。

【ワンポイントアドバイス】

最後までデジタルコンテンツを見せてしまうのではなく、途中で止めながら、児童にどんどん発言させ、発見する喜びを感じさせたい。

すべての児童に見せるのではなく、見通しの持てない児童だけに見せることも1つの方法である。

【サイト情報】

http://www.dainippon-tosho.co.jp/mext/nhk/es_02/S21.mpg

「算数・数学の思考過程をイメージする動画素材集」